

2012年度

# 線型代数学演習 B

## No. 6 問題 (計量ベクトル空間その3)

- 1 計量ベクトル空間  $V, V'$  の間の線型写像  $f: V \rightarrow V'$  が 計量同型写像 であるとは,  $f$  が全単射で, 任意の  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2 \in V$  に対し  $(\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2)_V = (f(\mathbf{x}_1), f(\mathbf{x}_2))_{V'}$  を満たすときをいう.

正の実数  $a > 0$  に対し, 計量ベクトル空間  $V_a$  を  $V_a = \mathbb{R}^2$ , 内積  $(\mathbf{u}, \mathbf{v})_{V_a} = {}^t \mathbf{u} \mathbf{v} / a^2$  で定義する. このとき, 以下の4つの線型写像  $f, g, h, i$  は計量同型写像であることを示せ.

(1) 正の定数  $k > 0$  に対して,  $f: V_a \rightarrow V_{ka}$ ,  $f(\mathbf{u}) = k\mathbf{u}$ .

(2)  $g: V_a \rightarrow V_{1/a}$ ,  $g \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 & 1/a^2 \\ -1/a^2 & 0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix}$ .

(3)  $h: V_a \rightarrow V_a$ ,  $h \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix}$ .

(4)  $i: V_a \rightarrow V_a$ ,  $i \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \theta & \sin \theta \\ \sin \theta & -\cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix}$ .

- 2 計量ベクトル空間  $V$  とその部分集合  $W$  に対し,

$$W^\perp = \{\mathbf{v} \in V \mid \text{すべての } \mathbf{w} \in W \text{ に対し, 内積 } (\mathbf{v}, \mathbf{w})_V = 0\}$$

を  $W$  の 直交補空間 と呼ぶ.

- (1) 次の2つのベクトル  $\mathbf{w}_1, \mathbf{w}_2$  で生成される  $\mathbb{R}^4$  の部分空間を  $W$  とするとき,  $W$  の直交補空間  $W^\perp$  の基底を求めよ. ただし, 内積は標準内積とする.

$$\mathbf{w}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{w}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \\ -2 \end{pmatrix}.$$

- (2) 小問(1)で求めた基底に Schmidt の直交化法を適用して,  $W^\perp$  の正規直交基底を求めよ.

- 3 計量ベクトル空間  $V$  とその部分空間  $W$ , 及び  $W$  の直交補空間  $W^\perp$  を考えると, 任意のベクトル  $\mathbf{v} \in V$  は一意的に  $\mathbf{v} = \mathbf{w}_1 + \mathbf{w}_2$  ( $\mathbf{w}_1 \in W, \mathbf{w}_2 \in W^\perp$ ) と書くことができる. 線型写像  $p_{W^\perp}: V \rightarrow V$  を  $p_{W^\perp}(\mathbf{v}) = \mathbf{w}_2$  と定義するとき,  $p_{W^\perp}$  を  $W^\perp$  への 直交射影 と呼ぶ.

- (1)  $V = \{ax^2 + bx + c \mid a, b, c \in \mathbb{R}\}$  とし, 内積を

$$(f(x), g(x))_V = \int_{-1}^1 f(x)g(x)dx$$

と定める (No. 5 問題 [3] (3) で内積になることは確認済み).  $W = \{k(x+2) \mid k \in \mathbb{R}\}$  とおくと,  $W$  の直交補空間  $W^\perp$  を求めよ.

- (2) 小問(1)で求めた  $W^\perp$  への直交射影  $p_{W^\perp}: V \rightarrow V$  を求めよ. つまり,  $f(x) = ax^2 + bx + c \in V$  に対し,  $p_{W^\perp}(f(x)) = g(x)$  となる  $g(x)$  を  $a, b, c$  を用いて表せ.